

令和5(2023)年度

事業計画書



一般財団法人大阪府青少年活動財団

大阪府大阪市浪速区幸町二丁目7番3号 リそな・アルテ桜川ビル4F

令和5(2023)年4月1日から
令和6(2024)年3月31日まで

令和5(2023)年度 事業計画書

今、変わらないでいつ変わる。
子どもたちの現状に一層寄り添い、
社会と繋がる財団を目指す。

～青少年健全育成の歩みを止めない～

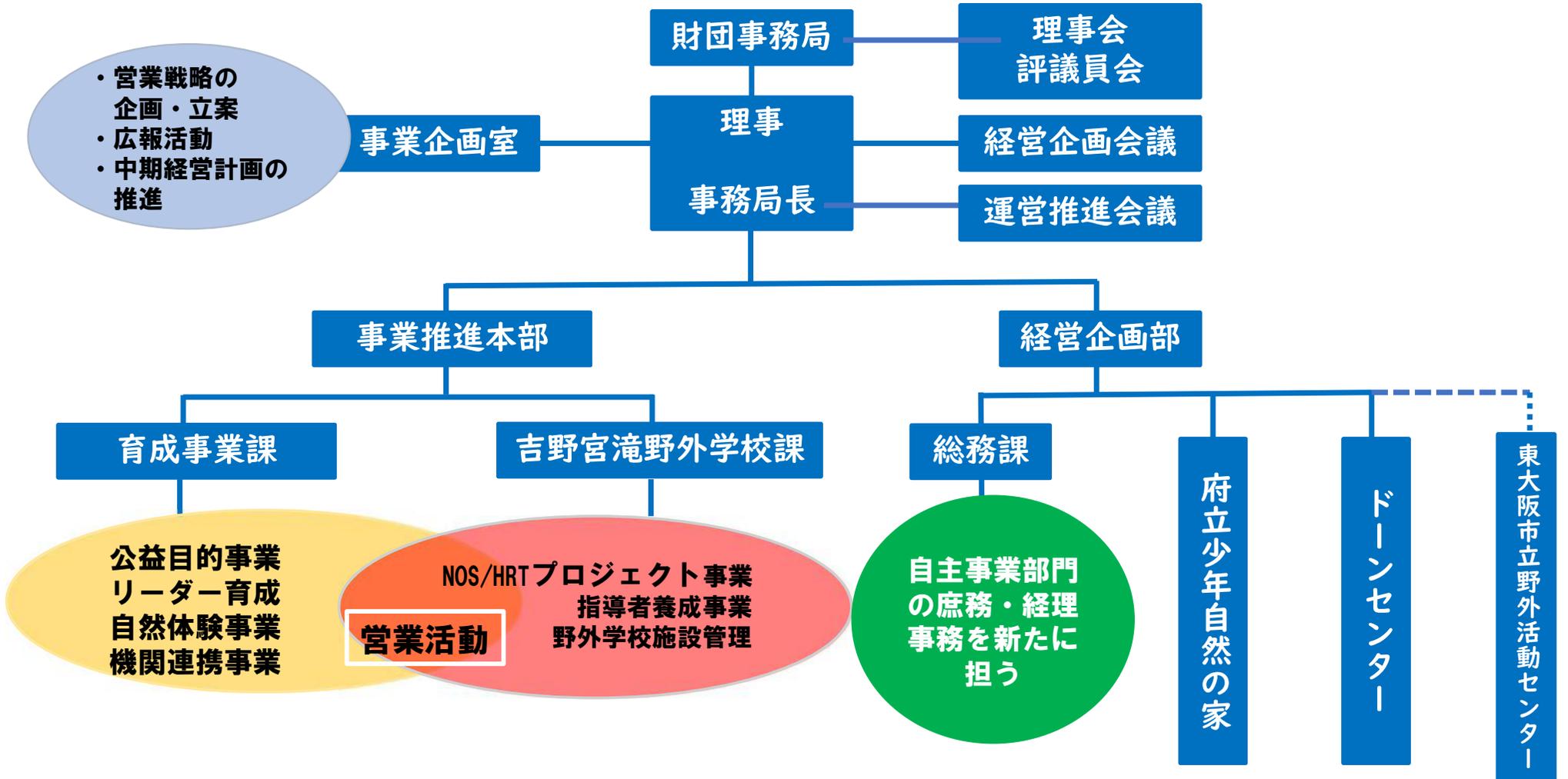
わたしたちは次代を担うこころ豊かな青少年をはぐくみ続けます。

SDGsの考えに則り社会との繋がりを重視しながら、持続可能な社会の一員として、その実現に向けて事業企画や施設運営を実行します。

さまざまな外的要因にも耐え得る経営基盤を確立すべく、**機構改革・意識改革を断行**します。

事業や研修の実施に際しては、感染症拡大防止のため、常に最大限の努力を払います。

2023年4月1日よりの新組織図



令和5(2023)年度 事業計画書

I. 機構改革

①【事業企画室】を新設します。

➡ 営業力の強化、営業ポリシーの確立

《吉野宮滝野外学校の稼働率の向上と出張型HRTの拡大をめざす》

- ・営業体制の構築
- ・営業用宣材の制作
- ・SNS広報の強化
- ・営業ノウハウの一般化と将来的な営業スタッフの増員
- ・営業先の開拓（市町村教育委員会、校長会、私学連盟、企業など） 他

《機関連携事業の受託拡大をめざす》

- ・市町村青少年行政主管課への事業提案など
- ・地域活動の支援（単位子ども会などの事業請負など）

《新規指定管理施設の獲得をめざす》

令和5(2023)年度 事業計画書

I. 機構改革

②【事業推進本部】を新設します。

➡ 育成事業部と吉野宮滝野外学校部を統合します。

- ①それぞれの人手の足りない時に補い合い、**機会損失を極力減らす**ため。
- ②自然体験事業の時期、対象、コンセプトの重複を解消し、**効率的な事業展開**を目指す。
- ③吉野宮滝野外学校を「ホームグラウンド」とした**リーダーの所属意識**を高めるため。
- ④事業企画室と連携し閑散期に営業活動を行い、**新たな顧客獲得**を目指す。

令和5(2023)年度 事業計画書

I. 機構改革

③【経営企画部】の権能を強化します。

➡ 事業推進本部の庶務、経理事務を経営企画部総務課へ集約します。

事業推進本部がより顧客に向き合える環境を整えることにより、

事業の質を高め、リピーター、新規顧客の獲得推進を目指す。

同時に、より効率的な予算執行を行う。

令和5(2023)年度 事業計画書

Ⅱ. 公益目的事業

SDGsターゲット: 1, 3, 4, 5, 10, 16, 17

ユニバーサル事業の継続実施

現代の青少年が抱える課題解決に向けて、社会のニーズに応える
公益性の高いユニバーサル事業を実施します。

→対象: 全4事業・延べ214名

新たな公益目的事業のあり方を模索します。

補助金や助成金の獲得を目指し、「ひとり親世帯向けキャンプ」など、
社会の変化に合わせた公益性の高い事業を模索、創出します。

青少年活動リーダーの育成を継続します

新人リーダー40名の確保を目指します(現在籍総数68名)。

年間15回の研修+2回の公開講座・・・それぞれにSDGsの理念を導入し、
社会貢献への意識付けを行います。



令和5(2023)年度 事業計画書

II. 公益目的事業

公益目的財産額	年間平均認定事業予算	目的支出計画期間
254,455,826円	9,593,000円	27年

No.	事業名	予定期間	共催団体	備考
1	青少年活動 リーダー育成事業	年間		採用新人予定数 40名 (現在籍総数 68名) リーダー研修：年間15回
2	公開講座	冬期	大阪府キャンプ協会 他 関西テレビ青少年育成事業団	リスクマネジメントセミナー 関西野外活動ミーティング リーダーズギャザリング
3	「シーカヤックチャレンジ」	9月	大阪府立青少年海洋センター	障がい者カヌー事業
4	「のびのびキャンプ」	プレ 9月 実施10月	公益財団法人 関西テレビ青少年育成事業団 特定非営利法人アサヒキャンプ	自閉症の子どものキャンプ
5	「ゆうゆうキャンプ」	6月 11月	公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団	岸和田市山直地区「こども 食堂」に通う子どものキャン プ

SDGsターゲット: 1, 3, 4, 5, 10, 16, 17

令和5(2023)年度 事業計画書

Ⅲ. NOS/HRTプロジェクト事業 SDGsターゲット:4, 17

3年にも及ぶコロナ禍のもと、集団活動や体験活動において、制限や自粛が求められる一方、リアルな対面活動の必要性がますます重要になる状況の中、『一人ひとりが豊かな人間関係を築く機会』を提供し、「コミュニケーションの未熟さ」や「自然体験の不足」など現代の青少年の課題解決に向けた取り組みを進めます。

特に、このwithコロナの状況に対応し、参加者が安心して参加できるよう「出張型」にも対応するための体制を更に充実させ、クライアントの要望に応じて実施方法・内容等をアレンジすることで、不安を軽減するプログラムを推進開発・実施します。



	参加者数目標／延べ人数	事業収益目標額
2023年度予定	8,500人／19,000人	75,250,000円
2022年度当初予定	6,000人／15,600人	65,000,000円
2022年度見込	7,952人／16,415人	56,000,000円

※収益目標額には講師派遣事業の内、NOS/HRT型事業分9,650,000円を含む

令和5(2023)年度 事業計画書

Ⅲ. NOS/HRTプロジェクト事業

Ⅰ. NOS/HRT (ヒューマン・リレーション・トレーニング) プロジェクト推進事業

- (1) 学校・青少年団体等への体験活動の機会提供、および集団づくり・人間関係づくりプログラムの提供
- (2) 企業等への組織づくり・コミュニケーション能力・リーダーシップ向上プログラムの提供
- (3) 学校クラブ(部活動)・スポーツチーム等への、チームづくり・リーダー育成プログラムの提供
- (4) 教育委員会との「教員研修」、「内定者研修」等での連携事業(大阪府教育センター、豊能地区、摂津市、たつの市 他)
- (5) 「出張対応」等での教育現場との連携事業(寝屋川市、たつの市各教育委員会、私立中学高校 他)
- (6) ネットやスマホの利活用を考えるセミナーやキャンプ事業での、協働・連携((一社)ソーシャルメディア研究会、たつの市 他)
- (7) 「新しい生活様式」に対応した「人間関係づくり」プログラムの開発・導入

2. 野外活動指導者の養成

- (1) 機関連携での資格認定講習会の実施
- (2) 大学・専門学校等からの野外活動指導者資格取得講習を併用したNOS/HRT事業受託



令和5(2023)年度 事業計画書

IV. 自然体験事業 SDGsターゲット: 3, 4, 14, 15, 17

- ・ 育成事業課および吉野宮滝野外学校課で実施する事業
- ・ 各会場施設の特色を活かし、青少年の「生きる力」を育みます。
- ・ 新規4事業を含め、11会場において54事業・延べ4,068人を対象に実施します。
- ・ 自治体や学校・企業などの要請に応じ、野外活動プログラムの企画・運営や青少年活動の講習会講師など、次代を担う地域人材を育成します。
- ・ 感染症対策の一環として行っておりました定員の抑制を撤廃し、より多くの青少年に対し、自然体験の機会を提供します。



令和5(2023)年度 事業計画書

IV. 自然体験事業

1. 募集型企画事業の実施

- (1) 心身が開放される自然環境の中で、実体験の場を提供します。
- (2) 四季折々の自然に触れ合うことのできるフィールドでの実施します。
- (3) 様々な年齢層に自然への感動と自己確立を図る活動機会の提供します。
 - ① 幼児には、穏やかな環境のもとでの集団活動体験を
 - ② 小学校低学年には、自然との出会いとグループ活動を
 - ③ 小学校高学年には、様々な自然環境のもと、自尊感情を育む体験活動を
 - ④ 中学生～高校生には、自己への気づき・他者への関わりを育む体験活動を
 - ⑤ ファミリーには、家族内や家族間の交流を促進する活動を
- (4) 体験活動を通し、スキルアップやチャレンジ精神を養う機会の提供します。
- (5) ひとつひとつの事業においてもSDGsターゲットを意識して立案、展開します。

	年間事業数	参加者数目標／延べ人数	事業収入額
2023年度予定	54事業	1,820人／4,068人	44,880,000円
2022年度当初	52事業	1,624人／3,348人	37,696,000円
2022年度見込	49事業	1,641人／3,007人	31,706,030円

令和5(2023)年度 事業計画書

2. 機関連携事業

2023年度は、自治体や学校団体などへ営業活動を行い、コロナ禍で失なわれた市町村主催キャンプや子ども会行事などの地域での体験活動の機会を支援していきます。

- (1) 摂津市チャレンジクラブ(夏期キャンプ・冬期キャンプ)(受託事業:摂津市教育委員会)
- (2) 箕面市立青少年教学の森野外活動センターでの青少年キャンプ事業の運営
(受託事業:(株)OUTDOORLIVING(教学の森指定管理者))
- (3) 堺市子ども会育成協議会交流事業の受託運営
- (4) その他、自治体主催キャンプ事業や子ども会行事などのサポート
- (5) 講師派遣事業(高槻市教育委員会、国立青少年教育振興機構、大学・専門学校・高等学校他)
- (6) 青少年育成大阪府民会議への参画
- (7) 「こころの再生」府民運動への協力
- (8) 大阪府こども会育成連合会との事業連携

令和5(2023)年度 事業計画書

V 施設運営 SDGsターゲット:3, 4, 5, 10, 11, 12, 14, 15, 17

I. 自主施設の運営

(I) 吉野宮滝野外学校 第二期長期使用貸借契約10年間の4年目(通算14年目)

吉野町との協働により、閉校された吉野町立の元小学校を活用し、財団が自主運営している「人を育てる野外学校」として、自然や地元の人々の温かさに触れながら、NOS/HRTプログラムやさまざまな自然体験事業を通じて、非日常性あふれる豊かな体験の場を提供します。

日常的な施設・設備の整備はもとより、トイレの洋式化工事に着手するなど、快適な施設への改修を行うことにより、プログラムの効果を高めます。

人材や食材など吉野町の地域資源を活かした施設運営を目指します。

新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策を継続して実施します。

	年間運営経費	事業収入目標額	年間利用目標人数(延べ)
2023年度予定	40,269,000円	21,120,000円	17,000人
2022年度当初	33,094,000円	19,860,000円	11,000人
2022年度見込	36,017,000円	17,873,000円	14,150人



令和5(2023)年度 事業計画書

(1) 吉野宮滝野外学校

①第二期賃借期間:4年目での運営の安定化と認知度の向上

- ・近隣地域、特に奈良県内の団体・学校への利用および連携の促進
- ・新規プログラム、フィールドの継続的開発
- ・町施策、地元周辺団体との連携、協働
- ・自然体験活動事業の展開
- ・SDGsを意識した効率的な施設運営による経費節減
- ・勤務配置を柔軟にし、運営体制面での効率的な人員配置を目指す。
- ・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症予防対策ガイドラインを遵守した施設運営

②利用促進のための広報の充実

- ・施設見学会、オープンデーの開催
- ・ホームページ、フェイスブック、動画、ICT、新聞メディア等による情報発信
- ・「吉野町広報」や地元ケーブルテレビとの連携、奈良県内学校団体等へのPR活動

③施設の改善・環境整備

- ・経年劣化への早期対応
- ・中庭(炊さん場、樹木等)、HACCP法制化への対応を含めた厨房(設備、食器類、食材保管庫等)、居住(宿泊室、研修室等)各エリアの環境整備
- ・計画的、段階的なトイレの洋式化
- ・地域消防や地元警察との連携強化や機械警備の導入によるセキュリティーの向上
- ・害虫や害獣への予防と対策



令和5(2023)年度 事業計画書

2. 共同指定管理施設の運営

(1) 大阪府立少年自然の家

第三期共同指定管理10年間のうち8年目

- ・引き続き学校団体を中心とした大規模団体への利用促進を継続しつつ、施設を活用した多様な事業を展開していきます。
- ・コロナ禍の終息に伴い利用が復調してきた学校団体に加え、野外活動の初心者を含む家族・少人数グループの増加が引き続き見込まれており、施設の利用案内などをよりわかりやすいものとするべく工夫を継続していきます。
- ・大阪府教育庁の放課後子ども教室（出前講座）のほか、公民館からの要請によるアウトドア講座など、地域教育への支援を引き続きおこなっていきます。
- ・施設面では2023年3月頃より、アンケート要望の多い、館内トイレの洋式化や老朽箇所を更新など、府と連携し、段階的に進めていきます。
- ・ホームページやSNSによる広報、QRコード、メールによる申込など、利便性を高めていきます。
- ・年間利用目標人数（延べ）・・・85,000人
（2022年度目標・・・70,000人、1月末時点の実績見込・・・約76,058人）
- ・効率的な施設運営による経費節減に努め、安心・安全な施設を目指します。

令和5(2023)年度 事業計画書

(1) 大阪府立少年自然の家

①施設環境改善への取り組み

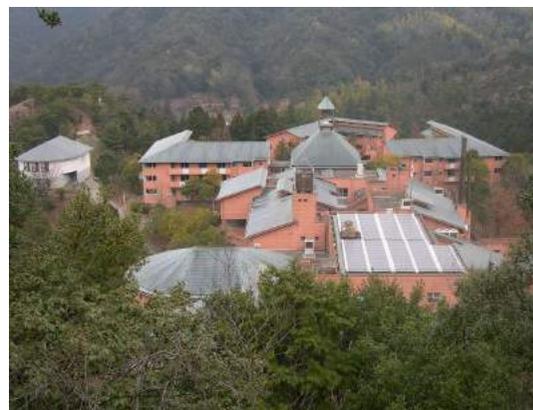
- ・ホームページの整備
- ・宿泊室の整備
- ・野外施設、居住環境、厨房設備の環境改善
(トイレの洋式化等)

②継続的な利用促進

- ・近隣地域、団体への利用促進と地域連携の促進
- ・プログラムの改善、フィールドの整備
- ・ホームページ、フェイスブック等SNSによる情報発信
事業申込みへのQRコード、フォームなどのIT技術の活用
- ・大阪府市逡送便、貝塚市広報との連携

③施設主催事業の充実

- ・府施策との連携、協調



<共同指定管理者> 公益財団法人大阪ユースホステル協会

令和5(2023)年度 事業計画書

(2) 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

第四期共同指定管理5年間のうち3年目

- ・3年目を迎える共同指定管理の枠組みをより強靱なものとし、構成他団体との連携を図ります。運営体制の慣熟を第一に据え、さらなる来館者へのサービス提供を行います。
- ・同時にコロナ禍に対応した環境を整え、より広い対象をターゲットに、さまざまなイベントや事業を企画、運営します。
- ・青少年コンシェルジュの配置や青少年専用自習コーナー設置・自習室開放などにより青少年の居場所づくり機能を充実させます。
- ・また引き続き青少年健全育成事業を企画・検討し、青少年センターとしての機能を多面的に発揮させていきます。

令和5(2023)年度 事業計画書

(2) 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

① 貸館受付部門の運営

「ドーン事業共同体」での役割として、引き続き貸館受付部門等を担当します。

- ・貸会議室等の受付、施設利用料收受、利用相談、調整
- ・「こどものへや（一時預かり保育）」の運営
- ・ホール、パフォーマンススペース利用の調整

※運営は専門業者に再委託

- ・1Fロビーでの総合受付カウンターの運用による来館者サービスの向上
- ・ドーンセンターの情報（事業含む）発信及び広報PR
- ・登録団体制度の維持、管理
- ・グループロッカーの管理



令和5(2023)年度 事業計画書

(2) 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

② 青少年センター機能の充実

- ・青少年コンシェルジュ(相談機能)の配置
- ・青少年専用自習コーナーの設置(情報ライブラリー内)
- ・財団の青少年活動リーダー育成事業の研修拠点のひとつとしての活用
- ・青少年活動情報コーナーへの事業広報チラシ配架の促進
- ・青少年関係団体の利用登録団体増加の推進と研修会場としての利用促進
- ・青少年関係事業の連携 ※府青少年課、大阪府青少年育成府民会議と連携
- ・青少年健全育成を主な目的とした野外活動団体とのイベントや研修会の共催及び協力
「リスクマネジメントセミナー」(12月頃) 「関西野外活動ミーティング」(3月頃)
- ・「『中学生の主張』優秀作品展」他、府施策青少年関連事業等の啓発パネル展
(IFロビー展開事業の一部)

<共同指定管理者> 株式会社カクタス / 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

令和5(2023)年度 事業計画書

VI 法人運営 SDGsターゲット:4, 5, 8, 10, 17

1. 理事会

- (1) 第1回理事会(定時) 令和5(2023)年6月5日(月) 午後2時～
大阪市立西区民センター 第3会議室
・令和4(2022)年度事業報告及び収支決算等
- (2) 第2回理事会(臨時) 令和5(2023)年6月22日(木) 午後3時30分～
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
・代表理事の専任
- (3) 第3回理事会(定時) 令和6(2024)年3月上旬
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
・令和6(2024)年度事業計画及び収支予算等

2. 評議員会

- (1) 第1回評議員会(定時) 令和5(2023)年6月22日(木) 午後2時～
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
・令和4(2022)年度 収支決算の承認
・理事、監事、評議員の改選
- (2) 第2回評議員会(定時) 令和6(2024)年3月
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
・令和5(2023)年度事業計画及び収支予算等

3. 上半期事業報告会

令和5(2023)年11月頃

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)



令和5(2023)年度 事業計画書

3. 法人運営

- (1) 社会の変革に合わせた機構改革と職員個々の意識の改革を推進
- (2) 新型コロナウイルス感染症や災害への対応を含めた危機管理や
コンプライアンスの徹底などによる、リスクマネジメント力の強化
- (3) 個人情報及び特定個人情報の適切な取扱いとその保護の周知徹底
- (4) ガバナンスの徹底



令和5(2023)年度 事業計画書

4. 第三期中期経営計画の推進と見直し

(1) SDGsを実践した法人運営

職員研修等を通じてSDGsへの理解をより一層深化し、
同時に個々の職員の担当する業務へ反映させる道筋をつけ、
持続可能な社会の実現に向けた法人運営を目指す。

(2) 経営の健全化・安定化を目的とした効率化の推進と、収益の最大化

例:リモートを活用した会議や面談のより積極的な導入
ペーパーレス化の推進
電子承認システムの導入の道筋の模索

(3) 計画的な人員採用および育成、ならびに資格取得の推奨などによるキャリア形成の推進

(4) 法令や社会背景を取り入れたより働きやすい職場環境の構築ならびに福利厚生の実



2030年までの財団オフィシャルマーク

令和5(2023)年度 事業計画書

(5) 中期経営計画の推進と見直し(経営企画会議での検討、実行を継続)

- ① 青少年の今日的課題の解決に向けた新規事業の構築のチャレンジ、プログラムの積極提案と実施
- ② 法人運営の安定化を目指す経営計画の策定・実行
 - ・青少年育成団体としての専門性の向上と継承
 - ・職員個々の計画的育成に向けた項目の抽出と研修の実施
- ③ 事業企画室による営業戦略の策定
- ④ 計画立案時に前提としていたことに齟齬が生じていることから、計画の総合的な見直しを同時進行で進める。
- ⑤ 計画実現に向けた提案やアイデアは、経営企画会議で策定し、担当各部署が実行する。

令和5(2023)年度事業計画一覧(資料編)

I 公益目的事業

1. 青少年活動リーダー(ユースリーダー)育成事業

会場: ドーンセンター・吉野宮滝野外学校ほか

カリキュラム		日程
		月 日
1	青少年活動リーダー募集活動 (難波市民学習センター)	「新人リーダーガイダンス」 4月 15日(土)、16日(日)、21日(金)、26日(水)
2	実地研修Ⅰ (大阪府立少年自然の家)	1年目: 「野外活動プログラムの体験」 2~4年目: 「野外技術の習得」「組織の理解」 「野外活動施設の理解」 5月 27日(土)~28日(日)
3	実地研修Ⅱ (府立青少年海洋センター)	「施設の理解」「水辺のプログラムの理解」 新しい生活様式を踏まえて野外プログラムを実証 6月 3日(土)~4日(日)
4	実地研修Ⅲ (吉野宮滝野外学校)	「野外活動施設の理解」「HRTプログラムの理解」 「グループ運営」「組織運営」 7月 1日(土)~2日(日)
5	実地研修Ⅴ (大阪府立少年自然の家)	「夏期事業の評価と振り返り」 8月 25日(金)~27日(日)
6	実地研修Ⅵ (会場未定)	「財団青少年活動リーダーの交流」 「コミュニケーション」「自己理解と他者理解」 11月 4日(土)~5日(日)
7	実地研修Ⅶ (吉野宮滝野外学校)	「1年間の評価と振り返り」 2月 14日(水)~15日(木)
8	実地研修Ⅷ (吉野宮滝野外学校)	「各学年ランクアップ研修」 「リーダー卒業式」 3月 1日(金)~3日(日)

2. 理論研修

カリキュラム		日程
		月 日
1	理論研修Ⅰ (大阪市立西区民センター)	3・4年目: 「ディレクターの役割と企画」 4月 14日(金)、18日(火)
2	理論研修Ⅱ (大阪市立西区民センター)	1・2年目: 「ユースサービス大阪とは」「組織とは」 「青少年活動リーダーとは」 6月 20日(火)、21日(水)
3	夏期事業研修・委嘱式 (ドーンセンター)	「夏期事業内容の理解」「委嘱式」 7月 9日(日)
5	理論研修Ⅳ (大阪市立西区民センター)	「グループワークとコミュニケーション」 10月 18日(水)、19日(木)、20日(金)
6	冬期事業研修 (会場未定)	「冬期事業内容の理解」 12月 10日(日)
7	理論研修Ⅴ (大阪市立西区民センター)	「青少年の理解」 1月 17日(水)、18日(木)、19日(金)

3. 公開講座

カリキュラム		日程
		月 日
1	リスクマネジメントセミナー (ドーンセンター)	「施設運営・事業運営の安全管理」 「事故事例から考えるリスクマネジメント」 12月頃 未定
2	リーダーズギャザリング (会場未定)	「リーダー活動の情報交換と親睦 他」 1月 27日(土)~28日(日)
3	関西野外活動ミーティング (ドーンセンター)	「野外活動の実践と理論の融合」 3月頃 未定

4. ユニバーサル事業

4事業 135名 延べ 214名

	事業名	日程	泊数	対象	定員数	
						延べ
1	ゆうゆうキャンプ (大阪府立少年自然の家)	6月 17日(土)~18日(日)	1泊2日	小1~中3	40名	80名
2	シーカヤックチャレンジ (府立海洋センター)	9月 23日(土)~24日(日) 一部日帰り参加あり	1泊2日	一般	40名	64名
3	ゆうゆうキャンプ (会場未定)	11月 未定	日帰り	小1~中3	40名	40名
4	のびのびキャンプ (吉野宮滝野外学校)	11月 25日(土)~26日(日)	1泊2日	小3~中3	15名	30名

II 財団自主事業（募集型企画事業）

1. 吉野宮滝野外学校

28 事業 802 名 延べ 1,582 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 親子で遊ぼう！～新緑の吉野山編～	4月 29日(土)祝～30日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
2 子どもキャンプ塾5月	3日(水)祝～4日(木)	1泊2日	小1～小6	30名	60名
3 大人の遠足キャンプ	5月 3日(水)祝～6日(土)の期間で自由設定	自由設定	一般	35名	50名
4 里山ディキャンプin吉野① ～野菜の収穫&ミニハイキング編～	28日(日)	日帰り	家族	15名	15名
5 里山ディキャンプin吉野② ～野菜の収穫&おやつ作り編～	17日(土)	日帰り	家族	15名	15名
6 吉野ファミリーキャンプ6月（ホテル&川を楽しむ編）	6月 17日(土)～18日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
7 親子で遊ぼう！① ～リバープログラム編～	24日(土)	日帰り	家族	20名	20名
8 親子で遊ぼう！② ～リバープログラム編～	7月 8日(土)	日帰り	家族	20名	20名
9 吉野ファミリーキャンプ7月	29日(土)～30日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
10 吉野1年生キャンプ	5日(土)～6日(日)	1泊2日	小1	48名	96名
11 吉野サマーキャンプ	8月 7日(月)～9日(水)	2泊3日	小1～小6	48名	144名
12 吉野ファミリーキャンプ8月①	12日(土)～13日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
13 吉野チャレンジキャンプ	9月 16日(土)～18日(月)祝	2泊3日	小1～中3	30名	90名
14 子どもキャンプ塾9月	23日(土)祝～24日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	60名
15 吉野アドベンチャークラブ①	14日(土)～15日(日)	1泊2日	小1～小6	25名	50名
16 里山ディキャンプin吉野③ ～秋野菜の収穫&ダッチオープンおやつ編～	10月 21日(土)	日帰り	家族	15名	15名
17 吉野ファミリーキャンプ10月	21日(土)～22日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
18 吉野ハロウィンキャンプ	28日(土)～29日(日)	1泊2日	小1～小6	48名	96名
19 吉野アドベンチャークラブ②	11月 11日(土)～12日(日)	1泊2日	小1～小6	25名	50名
20 親子で遊ぼう！③ ～食欲の秋編～	18日(土)～19日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
21 吉野アドベンチャークラブ③	12月 9日(土)～10日(日)	1泊2日	小1～小6	25名	50名
22 吉野クリスマスキャンプ	16日(土)～17日(日)	1泊2日	小1～小6	48名	96名
23 里山ディキャンプin吉野④ ～冬野菜の収穫&のこぎり体験編～	13日(土)	日帰り	家族	15名	15名
24 吉野ファミリーキャンプ1月	1月 13日(土)～14日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
25 子どもキャンプ塾1月	20日(土)～21日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	60名
26 吉野ファミリーキャンプ2月（冬山ミニトレッキング）	2月 3日(土)～4日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
27 吉野スプリングキャンプ 1泊	3月 25日(月)～26日(火)	1泊2日	小1～小6	20名	40名
28 吉野スプリングキャンプ 2泊	25日(月)～27日(水)	2泊3日		20名	60名

2. 大阪府立少年自然の家

5 事業 226 名 延べ 497 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 貝塚こどもの日キャンプ	5月 5日(金)祝～6日(土)	1泊2日	家族	40名	80名
2 貝塚サマーキャンプ	12日(土)～14日(月)	2泊3日	小1～小6	45名	135名
3 貝塚2 days キャンプ①	8月 16日(水)～17日(木)	1泊2日	小1～小6	48名	96名
4 貝塚わんぱくキャンプ	17日(木)～18日(金)	1泊2日	5歳～小3	45名	90名
5 貝塚2 days キャンプ②	21日(月)～22日(火)	1泊2日	小1～小6	48名	96名

3. 国立淡路青少年交流の家

2 事業 84 名 延べ 252 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 淡路島マリンキャンプ①	7月 30日(日)～8月1日(火)	2泊3日	小1～小6	42名	126名
2 淡路島マリンキャンプ②	8月 12日(土)～14日(月)	2泊3日	小1～小6	42名	126名

4. 大阪府立青少年海洋センター

4 事業 154 名 延べ 408 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 とことん遊ぶマリンキャンプGW	5月 4日(木)～5日(金)祝	1泊2日	小1～小6	42名	84名
2 とことん遊ぶマリンキャンプ	8月 9日(水)～11日(金)祝	2泊3日	小1～小6	40名	120名
3 マリンチャレンジキャンプ	19日(土)～22日(火)	3泊4日	小3～高3	30名	120名
4 フィッシングキャンプ	9月 16日(土)～17日(日)	1泊2日	小1～小6	42名	84名

5. ハチ高原他（スキー・ウィンター事業）

8 事業 331 名 延べ 991 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 ウィンターキャンプ in ハチ高原	12月 28日(木)~30日(土)	2泊3日	小1~小6	42名	126名
2 ジュニアスキー in ハチ高原				60名	180名
3 よくばり!ちびっこスノーキャンプ in ハチ高原	4日(木)~6日(土)	2泊3日	5歳~小3	42名	126名
4 ファミリースキー in ハチ高原①	1月 6日(土)~8日(月祝)	2泊3日	家族	35名	105名
5 雪遊びキャンプ in もくもくの里	20日(土)~21日(日)	1泊2日	小1~小6	42名	84名
6 ファミリースキー in ハチ高原②	2月 10日(土)~11日(日祝)	1泊2日	家族	35名	70名
7 シニアスキー in 志賀高原	3月 5日(火)~8日(金)	3泊4日	シニア世代	30名	120名
8 春休みよくばり妙高スノーキャンプ	28日(木)~31日(日)	3泊4日	小1~中3	45名	180名

6. 浪速アイススケート場

4 事業 120 名 延べ 120 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 スケート教室 6月	6月 11日(日)	日帰り	小1~小6	各30名	30名
2 スケート教室 9月	9月 18日(月祝)				30名
3 スケート教室 2月	2月 23日(金祝)				30名
4 スケート教室 3月	3月 20日(水祝)				30名

7. 東吉野ふるさと村（奈良県東吉野村）

1 事業 30 名 延べ 60 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 ふるさと村キャンプ	9月 2日(土)~3日(日)	1泊2日	小1~小6	30名	60名

8. 奈良県立野外活動センター

1 事業 30 名 延べ 60 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 忍者にんにんキャンプ	10月 7日(土)~8日(日)	1泊2日	5歳~小6	30名	60名

9. かつやま恐竜の森・奥越高原青少年自然の家（福井県）

1 事業 43 名 延べ 86 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 恐竜発掘・化石掘りキャンプ	11月 11日(土)~12日(日)	1泊2日	小1~小6	43名	86名

III. 機関連携事業

4 事業 400 名 延べ 810 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 堺市子ども会育成協議会交流事業（東吉野ふるさと村）	8月 3日(木)~5日(土)	2泊3日	堺市在住の小6	30名	90名
2 摂津夏期チャレンジ（府立海洋センター）	13日(日)~15日(火)	2泊3日	小4~小6	20名	60名
3 摂津冬期チャレンジ（ハチ高原）	2月 23日(金祝)~25日(日)	2泊3日	小4~小6	20名	60名
4 箕面市青少年キャンプ事業（箕面教学の森野外センター）	通年（8月~3月） 11事業+ネット上で写真展		箕面市在住の5歳~小6	330名	600名

正味財産増減予算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

単位:円

科 目	令和5(2023)年度	令和4(2022)年度	増減(A-B)	令和5(2023)年度予算(内訳表)			
	当初予算(A)	当初予算(B)		実施事業(継続)	その他事業	法人会計	内部取引控除
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	500,000	1,030,000	△ 530,000	0	0	500,000	0
基本財産受取利息	500,000	1,030,000	△ 530,000	0	0	500,000	0
② 特定資産運用益	500,000	98,000	402,000	0	0	500,000	0
青少年基金利息	500,000	98,000	402,000	0	0	500,000	0
③ 受取会費	800,000	800,000	0	300,000	500,000	0	0
受取賛助会費	500,000	500,000	0	0	500,000	0	0
サポーターズクラブ会費	300,000	300,000	0	300,000	0	0	0
④ 事業収益	188,652,000	175,447,000	13,205,000	708,000	208,994,000	0	21,050,000
青少年育成事業収益	120,140,000	100,082,000	20,058,000	0	141,190,000	0	21,050,000
青少年自立支援事業収益	708,000	1,072,000	△ 364,000	708,000	0	0	0
機関連携事業収益	10,040,000	18,070,000	△ 8,030,000	0	10,040,000	0	0
府施設運営事業収益	51,764,000	50,223,000	1,541,000	0	51,764,000	0	0
市施設運営事業収益	6,000,000	6,000,000	0	0	6,000,000	0	0
⑤ 受取補助金等	570,000	2,280,000	△ 1,710,000	0	0	570,000	0
受取国庫補助金収入	570,000	2,280,000	△ 1,710,000	0	0	570,000	0
⑥ 受取寄付金	11,000,000	10,854,000	146,000	0	10,000,000	1,000,000	0
受取寄付金	1,000,000	0	1,000,000	0	0	1,000,000	0
受取寄付金振替額	10,000,000	10,854,000	△ 854,000	0	10,000,000	0	0
⑦ 雑収益	389,000	369,000	20,000	0	60,000	329,000	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	389,000	369,000	20,000	0	60,000	329,000	0
経常収益計	202,411,000	190,878,000	11,533,000	1,008,000	219,554,000	2,899,000	21,050,000
(2) 経常費用							
① 事業費	197,042,000	197,713,000	△ 671,000	11,008,000	207,084,000		21,050,000
報酬(理事)	8,468,000	9,737,000	△ 1,269,000	0	8,468,000		
報酬	1,089,000	1,089,000	0	0	1,089,000		
給料	56,421,000	53,218,000	3,203,000	2,647,000	53,774,000		
職員手当	21,640,000	24,488,000	△ 2,848,000	884,000	20,756,000		
退職給付費用	790,000	890,000	△ 100,000	45,000	745,000		
共済費	12,306,000	13,574,000	△ 1,268,000	531,000	11,775,000		
福利厚生費	231,000	268,000	△ 37,000	0	231,000		
賃金	9,720,000	5,186,000	4,534,000	0	9,720,000		
賃金共済費	984,000	302,000	682,000	0	984,000		
報償費	8,535,000	9,245,000	△ 710,000	139,000	8,396,000		
旅費	7,471,000	7,701,000	△ 230,000	1,740,000	5,731,000		
消耗品費	6,786,000	6,650,000	136,000	641,000	7,195,000		1,050,000
印刷製本費	850,000	1,614,000	△ 764,000	7,000	843,000		
食料費	14,504,000	13,302,000	1,202,000	1,369,000	13,135,000		
光熱水費	4,184,000	2,460,000	1,724,000	0	4,184,000		
燃料費	430,000	382,000	48,000	18,000	412,000		
修繕費	180,000	180,000	0	0	180,000		
通信運搬費	2,242,000	1,875,000	367,000	0	2,242,000		
手数料	5,438,000	4,727,000	711,000	24,000	5,414,000		
保険料	1,311,000	1,234,000	77,000	89,000	1,222,000		
賃借料	21,965,000	23,970,000	△ 2,005,000	2,570,000	39,395,000		20,000,000
委託料	925,000	874,000	51,000	0	925,000		
負担金	2,200,000	2,164,000	36,000	290,000	1,910,000		
什器備品費	0	0	0	0	0		
原材料費	200,000	100,000	100,000	0	200,000		
公課費	6,038,000	10,139,000	△ 4,101,000	14,000	6,024,000		
雑費	0	0	0	0	0		
減価償却費	2,026,000	2,236,000	△ 210,000	0	2,026,000		
支払利息	108,000	108,000	0	0	108,000		
② 管理費	2,369,000	2,311,000	58,000	0	0	2,369,000	0
報酬(理事)	404,000	343,000	61,000			404,000	0
報酬	121,000	121,000	0			121,000	0
給料	728,000	727,000	1,000			728,000	0
職員手当	247,000	329,000	△ 82,000			247,000	0
退職給付費用	10,000	10,000	0			10,000	0
共済費	215,000	226,000	△ 11,000			215,000	0
福利厚生費	3,000	3,000	0			3,000	0
賃金	0	0	0			0	0
賃金共済費	0	0	0			0	0
報償費	5,000	5,000	0			5,000	0
旅費	29,000	15,000	14,000			29,000	0
消耗品費	2,000	2,000	0			2,000	0
印刷製本費	3,000	3,000	0			3,000	0
食料費	5,000	5,000	0			5,000	0
光熱水費	46,000	45,000	1,000			46,000	0
燃料費	0	0	0			0	0
修繕費	0	0	0			0	0
通信運搬費	4,000	4,000	0			4,000	0
手数料	124,000	63,000	61,000			124,000	0
保険料	26,000	26,000	0			26,000	0
賃借料	349,000	336,000	13,000			349,000	0
委託料	0	0	0			0	0
負担金	10,000	10,000	0			10,000	0
什器備品費	0	0	0			0	0
原材料費	0	0	0			0	0
公課費	26,000	26,000	0			26,000	0
雑費	0	0	0			0	0
減価償却費	0	0	0			0	0
支払利息	12,000	12,000	0			12,000	0
経常費用計	199,411,000	200,024,000	△ 613,000	11,008,000	207,084,000	2,369,000	21,050,000
評価損益等調整前当期経常増減額	3,000,000	△ 9,146,000	12,146,000	△ 10,000,000	12,470,000	530,000	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	3,000,000	△ 9,146,000	12,146,000	△ 10,000,000	12,470,000	530,000	0
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,000,000	△ 9,146,000	12,146,000	△ 10,000,000	12,470,000	530,000	0
一般正味財産期首残高	3,929,337	13,075,337	△ 9,146,000				
一般正味財産期末残高	6,929,337	3,929,337	3,000,000				
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	△ 10,000,000	△ 10,854,000	854,000				
当期指定正味財産増減額	△ 10,000,000	△ 10,854,000	854,000				
指定正味財産期首残高	91,943,777	102,797,777	△ 10,854,000				
指定正味財産期末残高	81,943,777	91,943,777	△ 10,000,000				
III 正味財産期末残高	88,873,114	95,873,114	△ 7,000,000				